

地域資源の 有効活用の促進

★ 三里浜オリーブカルメリーナ



休耕地の解消と地区の景観形成を目的としてオリーブを植樹。現在1300本植樹済み。栗地区の目標は4000本。越前海岸一帯に4万本の植樹を目標としている。国産品1%といわれているオリーブオイルの生産量を増やし、新規就農者の支援に向けて、もも等の果樹の栽培も推進している。雑草対策にはヒツジの放牧も取り入れ、育ての親による植樹にも協力者が増えており、これからの栗地区を盛り上げていく大きな活動になることは間違いない。



地域の魅力 栗の良さをアピール

★ 朝倉山



栗といえば朝倉山。頂上からは栗地区一帯と日本海を望むことができる。朝倉氏の居城跡や防空監視哨跡が遺る場所。この遺構を後世に引き継ぐため、登山道と展望台の整備を定期的に行っている。今では地区外からの登山客も増え、SNSでは朝倉山からの風景を載せている人も多数。

★ 三里浜緑地公園



通称グリーンベルトの愛称で何十年も愛されてきた緑地帯。両側に道路ができたためアクセスに危険度が増し、現在は利用者が減るばかり。緑地帯の管理は港湾事務所が定期的に行っている為、緑の美しさはそのまま。散歩コースや遊び場として利用するには最高の場所。

高齢者の生きがい づくりの場をつくる

★ 地域交通を便利に



人口約1600人の内、65才以上の割合が約4割と少子高齢化顕著。栗地区は地籍が広く、主要な幹線道路のバス停までが遠い家も多い。また、福井駅往復約1500円ということもあり、車の利用者が多い。高齢者の事故が問題化している為、地域所有のコミュニティバスを整備する案も浮上している。

★ 高齢者の住みよいまち



時代はAI等の進化が著しく、特に栗地区では便利なよう高齢者には不便に感じることが多い。生きがいづくりの場を作ること等、物理的に住みやすくする以上に、人と人とのコミュニケーションを大事に、心をバリアフリーにしていくことが住みよいまちづくりへの第一歩。